

杉並区内の障害者に関わる連絡会議体

分野	ネットワーク名	主催	参加機関	開催回数	目的、内容等
就労	雇用支援ネットワーク全体会	障害者生活支援課	区、作業所施設長、ハローワーク、特別支援学校、福祉事務所、産業商工課、自立生活支援センター	年2回	障害者の就労についての取り組み、区の方考え方、関係機関での課題、情報交換をはかることを目的とする。 障害福祉計画での就労についての説明、各施設での取り組み状況、特別支援学校での状況、ハローワークの情報提供など
	雇用支援ネットワーク実務担当者会	障害者雇用支援事業団	就労移行支援事業所・作業所就労担当者、ハローワークコーディネーター、特別支援学校進路担当、区	月1回	各作業所での就労担当者による情報交換、事例検討を通じて、交流し、就労の促進を図ることを目的とする。 共通アセスメントシートの開発、使えるツールや機関などの紹介、企業見学会や講演会の企画
日中活動	施設長会	障害者生活支援課	区内通所施設施設長	年2回	日中活動の管理者に対し、情報の周知を目的とする。 区の施策、障害者自立支援法関連情報、東京都からの通知、障害福祉計画等の周知、管理者同士の情報交換、
	精神障害者共同作業所・グループホーム連絡会	精神障害者共同作業所	精神障害者共同作業所、B型事業所、グループホーム、	月1回	精神障害者の関係施設の管理者による情報交換を目的とする。 精神障害者関連の施策や施設運営の課題など
工賃アップ	すぎなみ仕事ねっと	障害者生活支援課、すぎなみ仕事ねっと	作業所等16施設、区	月1回	作業所で働く利用者の工賃アップを目的とする。 共同受注、自主生産品の開発のための講座、区役所ロビー販売、インターネットショップなどの販路拡大と作業所間の仕事に関する情報交換
高次脳	高次脳機能障害関係者連絡会	障害者生活支援課オブリガード	病院、作業所、日中活動、相談支援機関、包括支援センター、行政など高次脳機能障害関連機関	年2回	高次脳機能障害者に関係する機関のネットワークの促進と高次脳機能障害者の理解の啓発 高次脳機能障害関係機関との情報交換、取り組み状況、医療・介護・障害の制度変化の確認等を行い、杉並区におけるネットワークの促進と啓発を図る。 定例会(2回/年)研修会(1回/年)運営委員会(6回/年)
GH/CH	グループホーム等世話人情報会	世話人情報交換会、自立生活支援センター	区内グループホーム世話人、自立生活支援センター	1回/3月	GHの世話人のスキルアップと情報交換を目的とする。 一人の責任者として4-5人の支援をし、高いサービス水準が求められ、その中で悩み努力をされている方々が、一堂に会し、支援事例検討をし、またGHが「ドブック」作成や忘年交流会に取組んでいる。幹事会あり
	グループホーム立ち上げ支援プロジェクト	プロジェクト	育成会、済美会、いたるセンター、同愛会、NPOゲンキ、NPO練馬エンゼル、支援センターすだち	随時	GH立ち上げのための情報交換、相談窓口としてGH利用を希望する物件情報を受ける窓口、その物件が実際に利用可能かの下見を経て、区内GH運営事業所に情報提供する役割を果たしている。NPOの運営開始の相談も行っている。ほぼ毎月開催。
居宅・移動事業所支援、啓発	人材育成担当者連絡会	障害者生活支援課	区、自立生活支援センター	不定期	区内の障害者の地域生活を支援する事業所や人材の育成を行う。 出張講座(商店街連合会、スポーツ振興財団)の開催、通所施設等での体験研修や区立施設の職場内研修への参加受入 等。
居宅・移動事業所支援	障害者ヘルパー支援事例交流・検討会	居宅介護・移動支援事業所幹事会(有志)	居宅介護・移動支援事業所、自立生活支援センター	年4回	ヘルパーのスキルアップと交流を目的とする。 居宅・外出介護事業者協議会とは別組織。H20年10月より準備会開始、同11月13日第1回開催。支援事例の検討と参加者の交流を通して支援の充実を目指す。ヘルパーの顔が見えるネットワークの構築。支援や施策の動向等に関する情報交換、情報提供。

(改訂版)改訂版杉並区内の障害者に関わる連絡会議体

資料 3

分野	ネットワーク名(連絡先)	主催(連絡先)	参加機関	開催回数	取り組み状況(23年2月現在)
相談	委託相談支援事業所連絡会	障害者生活支援課 (3312-2111) (内線2274)	障害者生活支援課、委託相談支援事業所7ヶ所	月1回	相談支援の状況(新規の相談事例、個別支援会議の状況、困っている事例など)の月例報告をし、相談について各所がどのように対応したか、活用した資源は何かなどの情報交換を実施している。つなぎ法案への対応、障害者サービスの申請窓口のあり方などについて意見交換を実施した。
就労	雇用支援ネットワーク実務担当者会	障害者雇用支援事業団 (5346-3250)	就労移行支援事業所・作業所就労担当者、ハローワークコーディネーター、特別支援学校進路担当、区	月1回	特別支援学校での就労支援の状況、アセスメントシートの記載や活用方法、企業見学会の企画、ハローワークの活用の仕方、各事業所の情報交換、個別支援計画についての情報交換、職務経歴書の書き方、担当者向けの企業見学会、模擬面接会の実施など就労に対する方法の具体的な取り組みを実施した。
工賃アップ	すぎなみ仕事ねっと	障害者生活支援課、すぎなみ仕事ねっと(障害者生活支援課) (3312-2111) (内線2274)	作業所等16施設、区	月1回	工賃アップのための情報交換、共同受注の情報、イベントの企画実施、ホームページの活用などの取り組みなどの内容で話し合いをしている。会議の企業の参加があり、企業と作業所の共同企画について検討中。区賀詞交換会記念品を受託。障害者の手引きの発注作業や区の軽作業宛名シール貼りなどの引き合いがあった。情報交換のための交流会を実施。
高次脳	高次脳機能障害関係者連絡会	障害者生活支援課 オブリガード (3391-1976)	病院、作業所、日中活動、相談支援機関、包括支援センター、行政など高次脳機能障害関連機関	年2回	高次脳機能障害関係機関の情報交換、取り組み状況、医療・介護・障害等の制度変化の確認を行い、杉並区におけるネットワークの促進と啓発を図る。 第1回 5/15開催 17機関32名参加 「入所更生施設の取り組み」「医療保険の改正」について研修会 9/25開催 14機関24名参加 事例検討(2ケース)グループワークにて 第1回 11/12開催予定 家族会について、運営委員会5月・7月・9月・11月・2月開催
GH/CH	グループホーム等世話人情報会	世話人情報交換会、自立生活支援センター(すだち) (5310-3362)	区内グループホーム世話人、自立生活支援センター(すだち・やなぎぼ・オブリガード)	1回/3月	GH(CHも含む)の世話人のスキルアップと情報交換を目的とする。一人の世話人が4~5人の入居者の支援をする現状の中で、世話人の支援の悩みを共有し、事例検討や勉強会などを行っている。今年度は知的障害者の結婚や性の問題について講座を開催。GHガイドブックの作成や新年交流会などの企画や運営にも取り組んだ。相談支援部会のGH訪問を受け、相談支援事業所の職員との交流も図り、今後の連携について模索中。
	グループホーム立ち上げ支援プロジェクト	プロジェクト(すだち) (5310-3362)	育成会、済美会、いたるセンター、同愛会、NPOゲンキ、NPO練馬エンゼル、支援センターすだち	随時	GH(CH含む)の開設支援のため、区内運営事業所などが連携して、個人や不動産事業所からGH利用可能物件情報を受け、検討・見学・利用可能性の間取りと費用概算を検討し、オーナーに提示。オーナーの了解があれば、区内運営事業所に一斉に情報を発信、最終的にはオーナーと希望事業所間で賃貸借契約のうえ、GH活用開始となる。昨年6月から5件の情報があり、その都度開催。実際に複数のGH開設につながっている。
居宅・移動事業所支援	障害者ヘルパー支援事例交流・検討会	居宅介護・移動支援事業所幹事会(有志)(すだち) (5310-3362)	居宅介護・移動支援事業所、自立生活支援センター(すだち・やなぎぼ・オブリガード)	年4回	ヘルパーのスキルアップと交流を目的とする。居宅・外出介護事業者協議会とは別組織。支援事例の検討と参加者の交流を通して支援の充実を目指している。支援や施策の動向等に関する情報提供、情報交換も行っている。今年度は「介護保険に移行した方の事例」「精神障害の方への支援」「高次脳機能障害者への支援」などについて、事例検討および講師を招いての勉強会を実施した。3月には歯科医師による講演会「障害者の口腔ケアについて」をヘルパー向けに開催予定。
短期入所	短期入所事業所連絡会	短期入所事業所連絡会、自立生活支援センター(すだち) (5310-3362)	短期入所事業所連絡会、自立生活支援センター	年2回	各事業者の受入の現状や現在課題となっている現状を交流。また共有すべき情報やネットワーク、緊急時などの連携方法を交流している。最近、利用者送迎の方法を模索する意見。申込みやすさのための連絡・協力や、事業所の特徴を伝える手立のため、パンフレット作成準備。また、人材確保の困難さ、短期入所利用率不足が話し合われている。